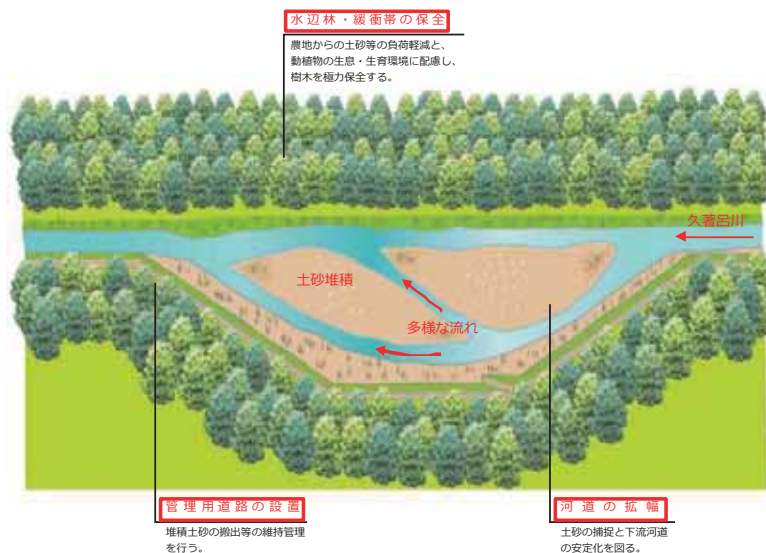


## ③河川沿いの土砂調整地



●目標

湿原に流入する土砂量の軽減

●対策の効果

土砂調整地を整備することにより、土砂を捕捉し湿原に流入する土砂量を軽減させる。

(細粒土砂) 40m<sup>3</sup> 軽減

(粗粒土砂) 440m<sup>3</sup> 軽減

●実施内容

河道の拡幅 約360 m

管理用道路など

管理用道路の設置

堆積土砂の搬出等の維持管理を行う。

河道の拡幅

土砂の捕捉と下流河道の安定化を図る。



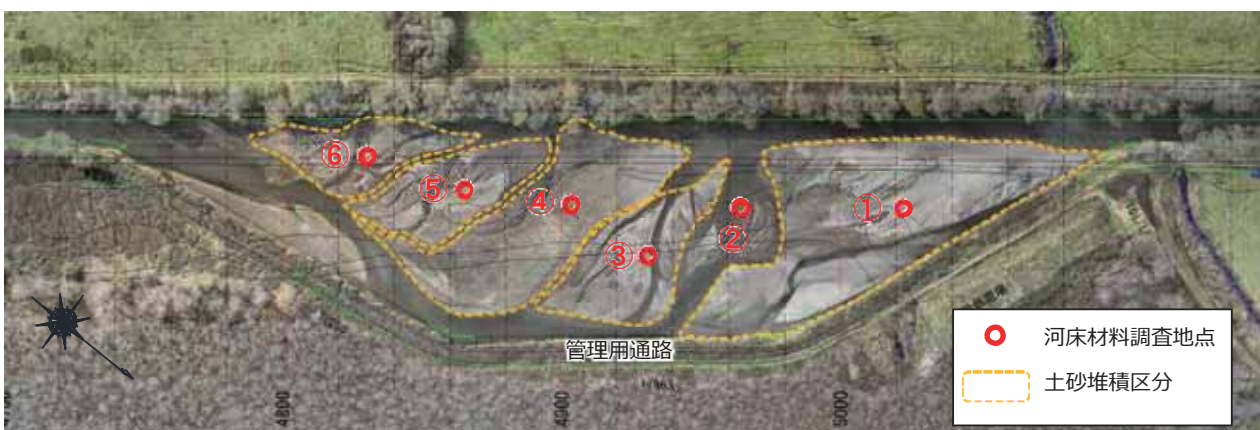
平成28年9月撮影



令和7年10月撮影

- 令和2年3月に河道の拡幅、管理用道路の整備が完了。
- 令和6年3月、令和7年3月に土砂調整地に堆積した土砂を掘削。

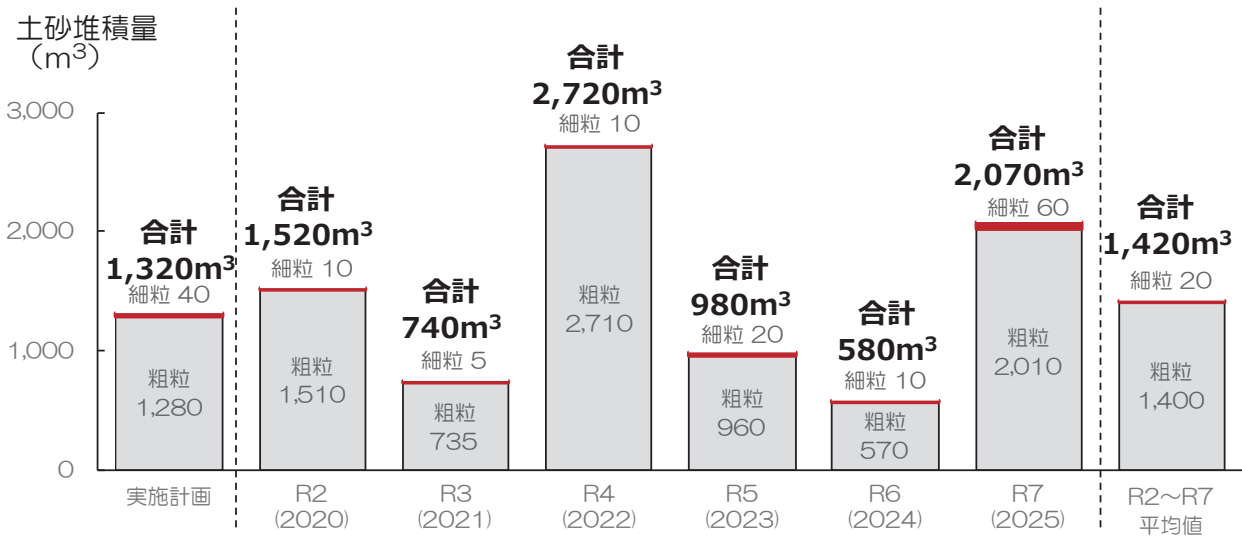
(1) モニタリング内容



令和7年月10月撮影

- 土砂の捕捉の効果量を把握するため、横断測量（20mピッチ）と河床材料調査（6箇所）を実施。
- 前年に実施した横断測量との差、河床材料調査の粒度試験結果を踏まえて土砂堆積量を算定。

## (2) モニタリング結果



- 令和7年の土砂堆積量は2,070m<sup>3</sup>と令和6年度から増加。内訳は、粗粒2,010m<sup>3</sup>、細粒60m<sup>3</sup>とほとんどが粗粒土砂。
- 平均では1,420m<sup>3</sup>となっており、概ね実施計画と同程度。

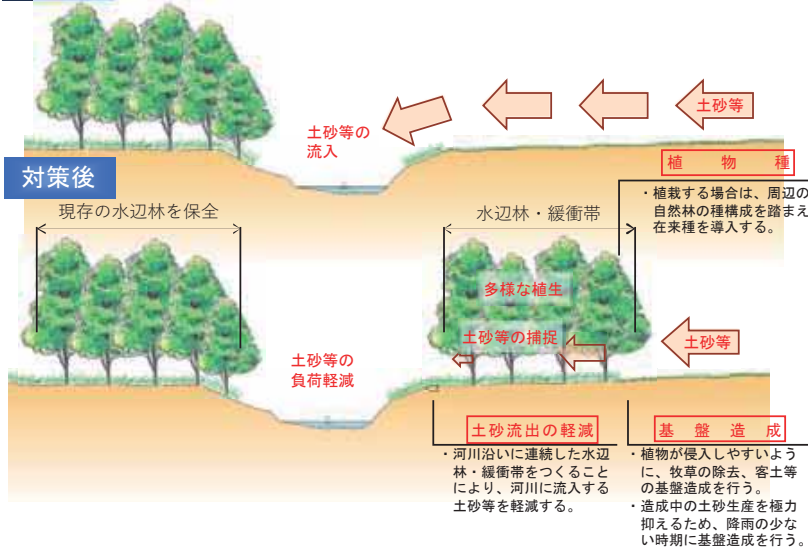
## ④ 水辺林・緩衝帯

# 4. 水辺林・緩衝帯

## 4-1. 概要



対策前



●目標

湿原に流入する土砂量の軽減

●対策の効果

水辺林を整備することにより、土砂を捕捉し湿原に流入する土砂量を軽減するとともに、多様な自然環境の復元・修復を図る。

(細粒土砂) 20m<sup>3</sup> 軽減

●実施内容

基盤造成 600m  
植栽 600m

# 4. 水辺林・緩衝帯

## 4-2. 実施区間の状況

- 令和7年度は、水辺林の基盤整備、シカ侵入防止柵の設置工事を実施予定。

**水辺林 実施区間 約350m**

**①全景**

**②背後地の状況**

**③背後地の状況**

**④流末箇所の状況**

**⑤河道の状況**

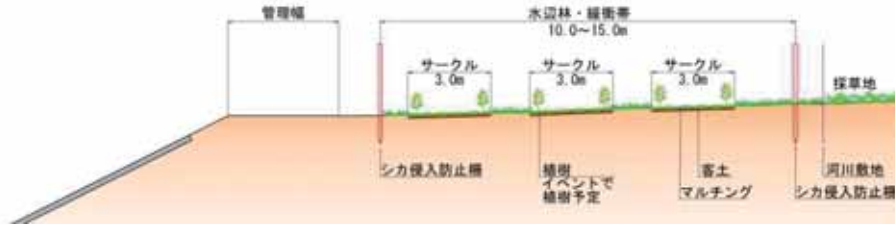
**凡例**

- 樹木・草本
- 現況河川
- 河川敷地
- 写真撮影位置

4-3. 整備内容

- 令和7年度は、サークルの整備とシカ侵入防止柵の設置工事を実施予定。植樹は、令和8年度以降、一般参加のイベントとして行う予定。
- 植栽を行う箇所は、工事直後にマルチング処理を行い、土砂流出を防ぐ対策を講じる。

施工直後



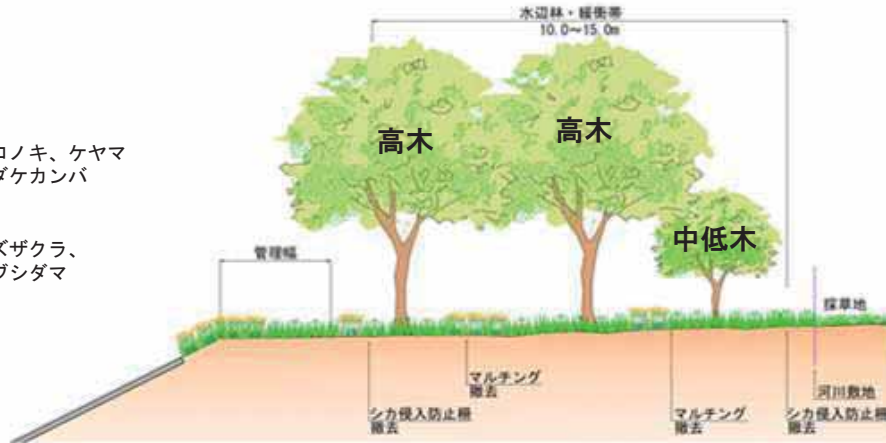
樹木成長後

高木種

ハルニレ、ヤチダモ、ドロノキ、ケヤマ  
ハンノキ、シラカンバ、ダケカンバ

中低木種

ハシドイ、エゾノウワミズザクラ、  
カラコギカエデ、ネムロブシダマ



4-4. 実施区間、試験箇所 の状況

- 水辺林を実施する区間における対策前の土砂流入量を把握するため、本地区で令和7年度に現地試験を実施。



## ⑤ 森林の再生

### 現況と予測結果

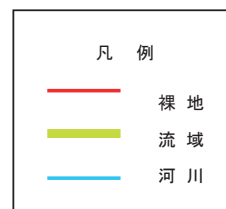
位置図



●目標

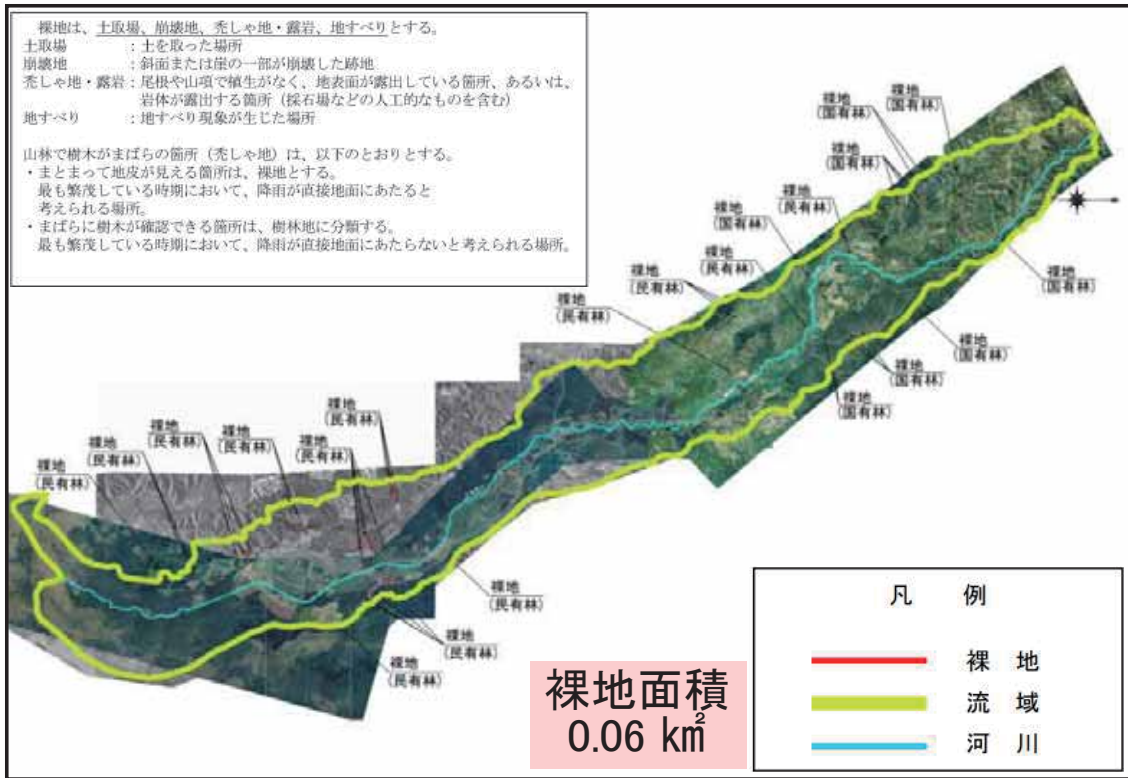
流域の裸地に対して植林等を実施することにより、裸地等から河川に流入する土砂の発生を抑制し、湿原に流入する土砂量を軽減する。

土砂区分	湿原に対する効果量 (m <sup>3</sup> /年)
全 体	70
細粒土砂	70
粗粒土砂	-



5-2. 久著呂川における裸地の分布

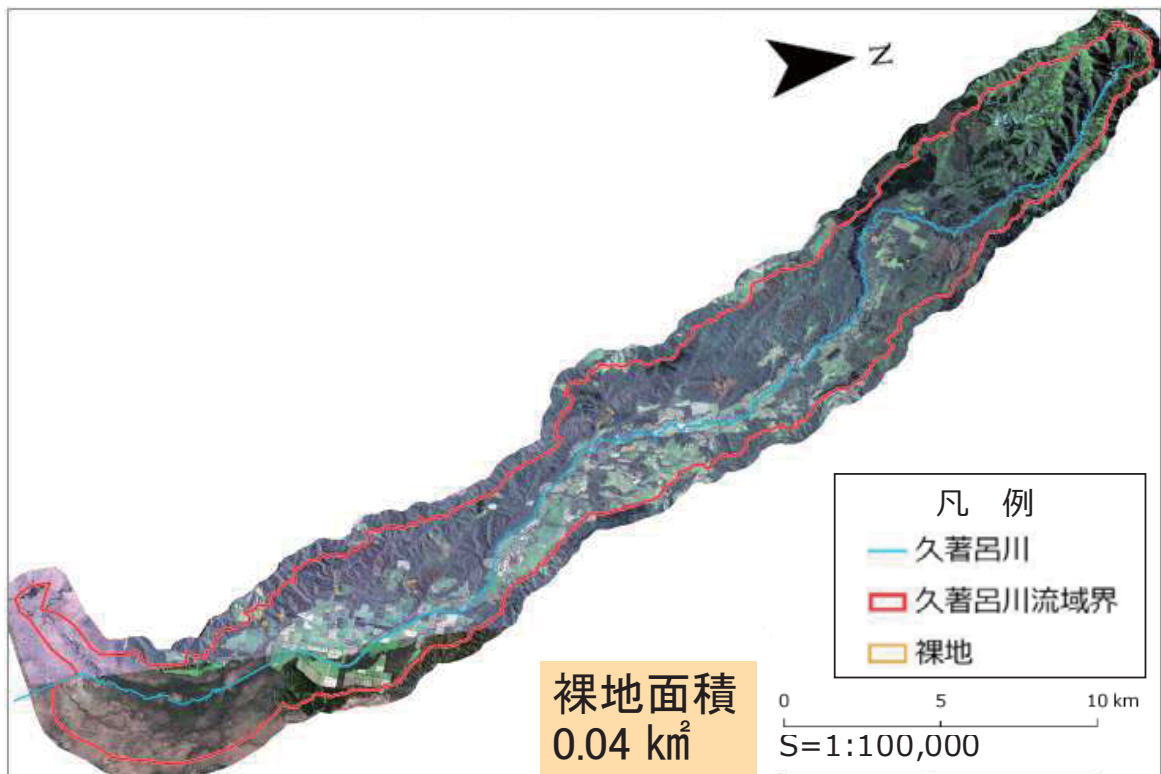
(1) 土砂流入対策実施計画〔久著呂川〕における裸地の分布



出典：「空中写真（2004年6月、2002年9月、2000年10月）」国土交通省 国土地理院

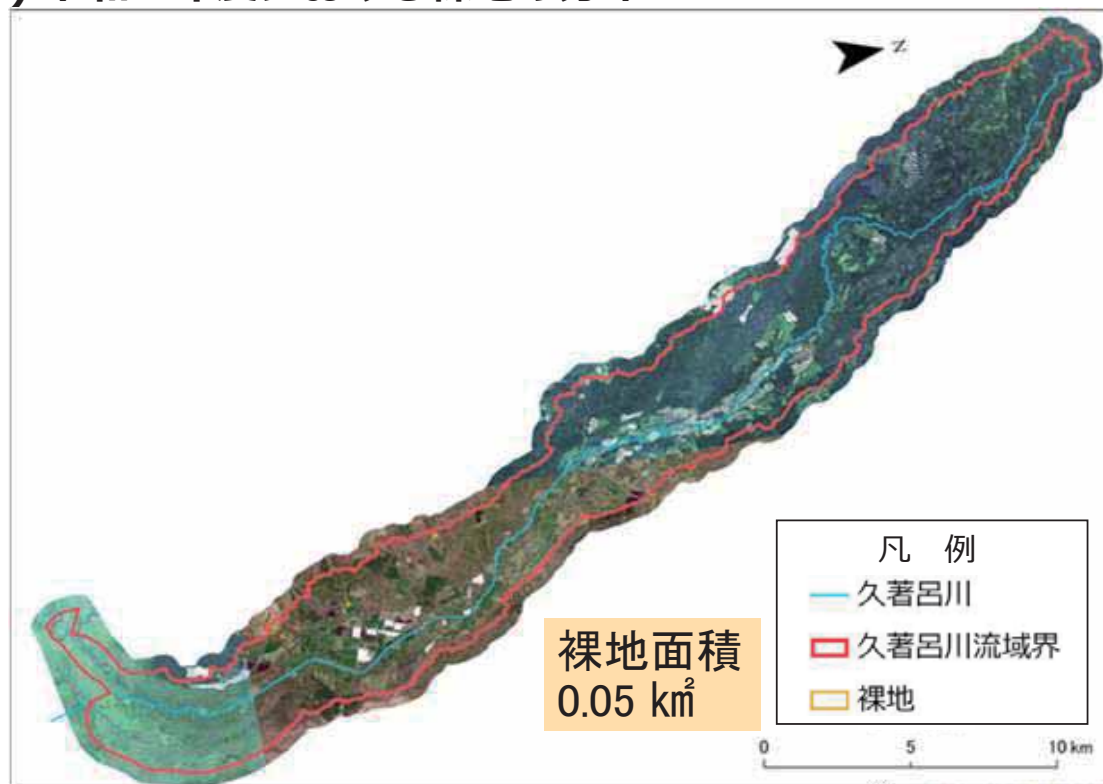
5-2. 久著呂川における裸地の分布

(2) 平成30年度における裸地の分布



出典：World View-2 (c) 2017 Digital Globe, Inc.

## (3) 令和7年度における裸地の分布

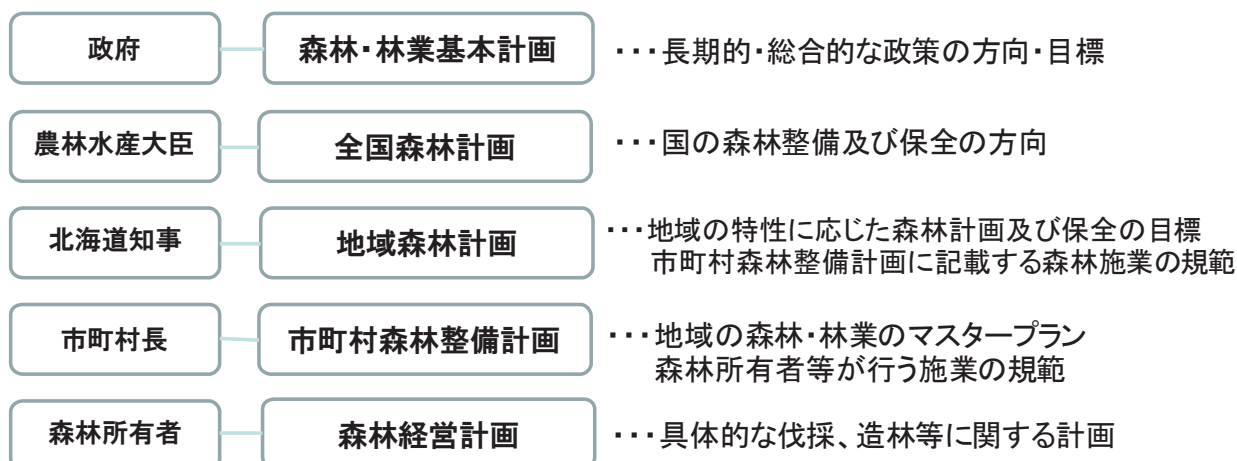


出典：World View-2 (c) 2017 Digital Globe, Inc.

## (1) 森林制度について

計画的な森林づくりのため、計画的・長期的な視点に立ち、森林を適切に管理・育成することを目的とする

## ● 森林計画制度の体系



※国有林：国有林の地域別の森林計画

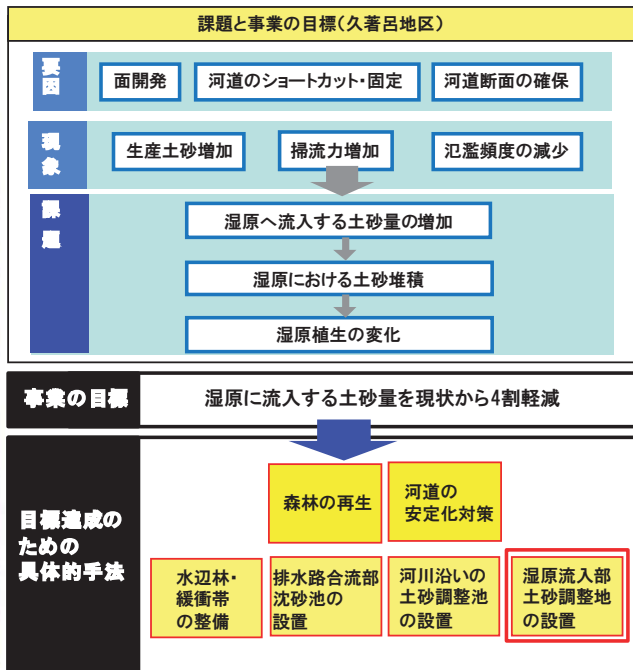
※道有林：道有林基本計画

## ⑥ 湿原流入部土砂調整地

### 6-1. 湿原流入部土砂調整地の概要

- ◆ 久著呂川では流域の開発や河道整備に伴い、湿原へ流入する土砂量の増加がみられた。
- ◆ 湿原流入土砂量を現状から4割軽減※することを目標に、実施計画（平成18年）策定以降、対策が進められている。
- ◆ 湿原流入部土砂調整地は、細粒土砂の捕捉を目的に整備を行い、土砂調整地完成後にモニタリングを継続している。

※1 土砂流入対策実施計画【久著呂川】（平成18年8月）



「基図」は北海道地図株式会社作成の「釧路湿原国立公園」図を使用

6-2. 湿原流入部土砂調整地の事業実施状況

- ◆ 湿原流入部土砂調整地を設置することで、湿原に流入する細粒土砂を軽減する。
- ◆ 平成21年に左岸土砂調整地設置後、左岸の土砂調整地による軽減効果は年間で約3割となった（平成30年時点の評価）。
- ◆ 令和元年に右岸土砂調整地が完成し、左右岸の土砂調整地による軽減効果は年間で約4割となった（令和5年時点の評価）。

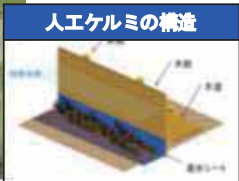
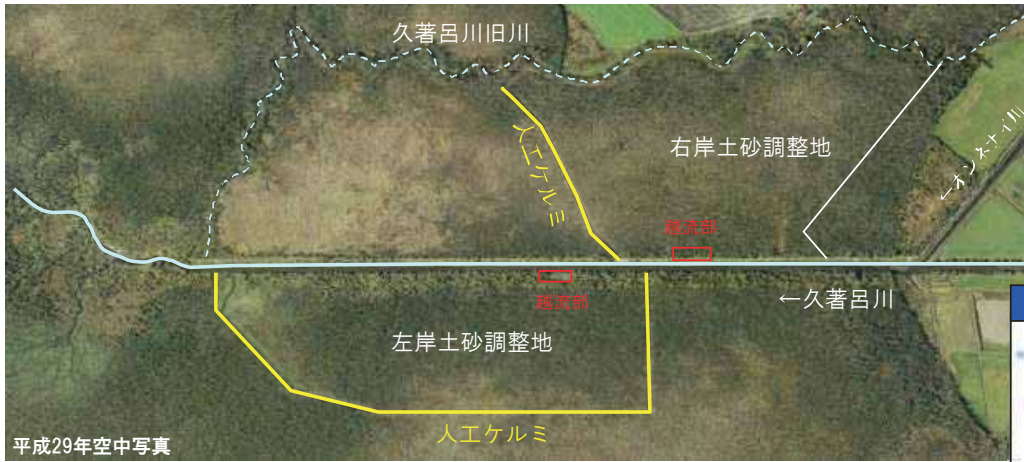


表1 湿原流入部土砂調整地スケジュール

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
● 実施計画策定 (H18.8)																						
			← 左岸土砂調整地施工																			
									← 右岸土砂調整地施工													
										← モニタリング												

6-3. 令和7年度のモニタリング結果【土砂トラップ調査結果】

- ◆ 土砂トラップ期間中の流下土砂量（土砂調整地上流地点）は、約848m<sup>3</sup>であった。（流量-浮遊砂量の関係式を用いて算定）
- ◆ このうち、左右岸の土砂調整地内に堆積した土砂量は 約163m<sup>3</sup> であり、期間中の土砂流入軽減効果は約1.9割となり、土砂調整地の効果が発現された。

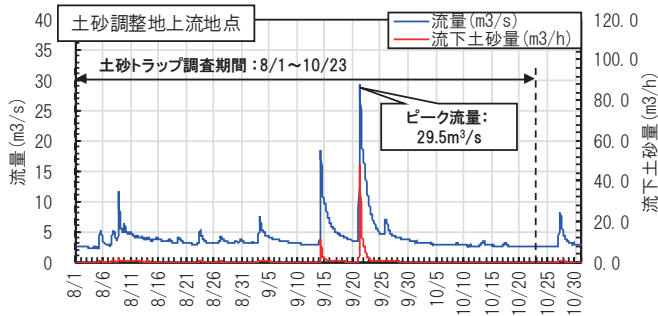
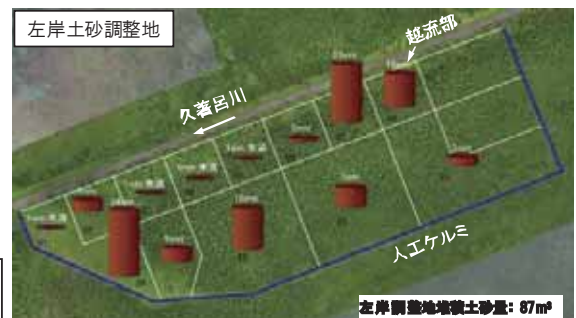


図6 流量と流下土砂量（調整地上流地点）



図6 通過土砂量と堆積土砂量

- ◆ 令和7年出水期（8/1~10/23）では、土砂調整地上流地点の通過土砂量約848m<sup>3</sup>のうち、約163m<sup>3</sup>が調整地内に堆積。



## (事務局報告)

### ⑦排水路合流部沈砂池

#### 7-1. 排水路合流部沈砂池のモニタリング概要

**目的: 釧路湿原に隣接する農地を流れる農業用排水路では、下流域への土砂流入対策として河川との合流地点等に沈砂池を設置しています。**

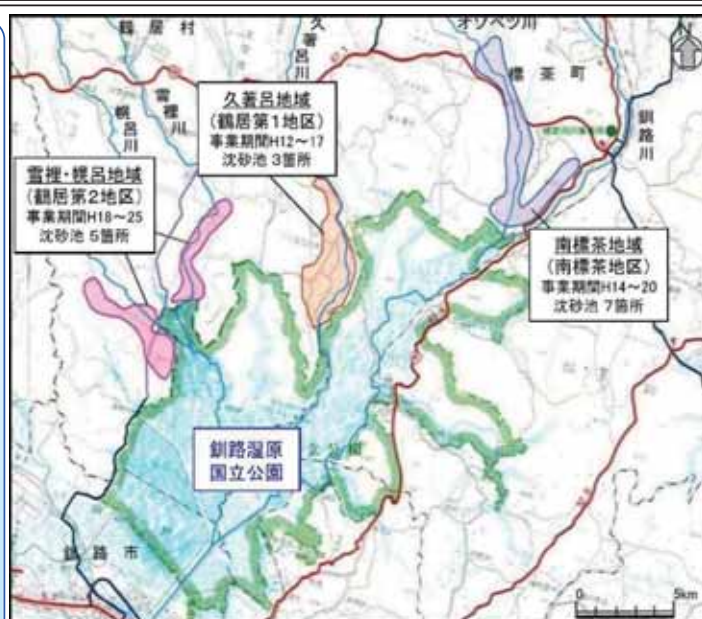
##### ○土砂流入対策の実施状況

国営総合農地防災事業では、土砂流入対策として農業用排水路の整備と併せて沈砂池の整備を実施しています。

これまで、施設管理者となる標茶町及び鶴居村が主体となり、地域の農業者団体と連携した排水路及び沈砂池の巡回点検及び土砂上げ等が実施されており、本報告は、これらの実施状況を報告するものです。



< 鶴居第1地区 2号沈砂池 >



< 釧路湿原と国営総合農地防災事業区域 >

7-2. 排水施設の管理状況【久著呂地域】

◎維持管理状況（鶴居第1地区）

○排水施設の維持管理状況

- ・ 地区内の沈砂池及び排水路本線にて土砂堆積が見られることから、施設管理者および地域の農業者等で構成する団体による巡回点検を踏まえ、施設の堆砂状況をみながら、沈砂池及び排水本線にて土砂上げが実施されています。
- ・ R5～7年では、4号排水路にて附帯の水路及び沈砂池で土砂上げを実施しています。



鶴居第1地区の維持管理状況

排水路名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
排水路							
1号排水路	○	○	○	○	○	○	○
2号排水路	○	○	○	○	○	○	○
3号排水路	○	○	○	○	○	○	○
4号排水路	○	○	○	○	○(附帯)	○(附帯)	○(附帯)
沈砂池							
2号沈砂池	○	○	○	○	○	○	○
3号沈砂池	○	○	○	○	○	○	○
4号沈砂池	○	○	○	○	○	○	○

※1 本表の○印は巡回点検の実施、◎印は土砂上げの実施を示します。



<附帯水路土砂上げ>



<沈砂池（土砂上げ後）>

7-3. 排水施設の管理状況【雪裡・幌呂地域】

◎維持管理状況（鶴居第2地区）

○排水施設の維持管理状況

- ・ 本地区においても、鶴居第1地区と同様に、沈砂池及び排水路本線での土砂上げが実施されています。
- ・ ただし本エリアでは、河川本川の土砂堆積による河床上昇の影響により、農業用排水路側への逆流（土砂流入）が確認されており、近年は、沈砂池の土砂堆積状況の監視を行い、過剰な土砂堆積が見られる場合に土砂上げが実施されています。



鶴居第2地区の維持管理状況

排水路名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
排水路							
雪裡1号排水路	◎	○	○	○	○	○	○
雪裡2号排水路	◎	○	○	○	○	○	○
雪裡3号排水路	○	○	○	○	○	○	○
幌呂1号排水路	◎	○	○	○	○	○	○
幌呂2号排水路	○	○	○	○	○	○	○
沈砂池							
雪裡1号沈砂池	◎	○	○	○	○	○	○
雪裡2号沈砂池	◎	○	○	○	○	○	○
雪裡3号沈砂池	○	○	○	○	○	○	○
幌呂1号沈砂池	◎	○	○	○	○	○	○
幌呂2号沈砂池	○	○	○	○	○	○	○

※1 本表の○印は巡回点検の実施、◎印は土砂上げの実施を示します。

7-4. 排水施設の管理状況【南標茶地域】

◎維持管理状況（南標茶地区）

○排水施設の維持管理状況

- ・ 地区内の沈砂池及び排水路本線にて土砂堆積が見られることから、施設管理者及び地域の営農者による組織により、巡回点検及び土砂上げが適期に実施されています。
- ・ クニクンナイ排水路及びルルラン第1排水路は、流域内となる農地の流域からの土砂流入が顕著ですが、それ以外の路線は、流域内の土地利用が牧草地主体であり、沈砂池の経年的な土砂堆積は見られない状況が継続しています。
- ・ R6年度はシロンド排水路、R5及びR7年度はルルラン第2排水路でも土砂上げを実施しています。



南標茶地区の維持管理状況

排水路	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
シロンド排水路	○	○	○	○	○	◎	○
クニクンナイ排水路	○	◎	○	◎	○	○	○
五十五第1排水路	○	○	○	○	○	○	○
五十五第2排水路	○	○	○	○	○	○	○
中オンベツ排水路	○	○	○	○	○	○	○
ルルラン第1排水路	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
ルルラン第2排水路	○	○	○	○	◎	◎	◎

※1 本表の○印は巡回点検の実施、◎印は土砂上げの実施を示します。



<沈砂池土砂上げ>



<排水路土砂上げ>

7-5. 今後のモニタリング調査について

◎土砂流入対策の実施と維持管理体制

- ・ 農業用排水路下流部に設置された沈砂池の機能により、農地等から河川流域に流入する土砂を捕捉し、湿原に流入する土砂量を軽減する目的は着実に果たされています。
- ・ 維持管理を継続的に実施するため鶴居村、標茶町共に、施設管理者となる役場と農業者等で構成される下記の組織の協力により、排水施設の巡回点検や土砂上げ等の施設管理が継続的に実践されています。

鶴居村  
「資源保全協議会広域協定」  
標茶町  
「標茶西地区農地・水保全隊」



<鶴居第2地区 沈砂池イメージ図>

今後も、農業用排水路として整備された区域を対象とし、農地から釧路湿原流域への土砂流入対策として、地域の取り組み状況等を把握していきます。

## (事務局報告)

### ⑧久著呂川自然再生の見学ツアー

○「久著呂川自然再生見学ツアー」は、釧路湿原が抱える課題や、久著呂川で行われている湿原への土砂流入対策、その効果について、一般の方々が体験を通じて学べるツアーです。

見学ツアーの概要		見学ツアーの様子		見学ツアー参加者の感想														
実施日時：令和7年8月21日（木） 10：00～16：00 実施場所：久著呂川の土砂流入対策箇所（下表に詳述） 参加人数：一般参加者9人（4名が初参加）		 上流の自然河道 河道の状況を見学			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初体験の胴長で川に入り、足元取られながらも魚等を観察できてよかったです。</li> <li>■ 実際に見学して対策効果がわかった。</li> <li>■ どの場所も災害から守ることを目的に行われているとひしひしと感じた。</li> <li>■ 土砂の流入により湿原が変わるのを阻止するため、各省庁が一丸になったの取り組みだと知り、とても良い一日でした。</li> </ul>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>見学地点</th> <th>見学・説明内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上流の自然河道</td> <td>                             ・上流の自然河道の説明及び見学                              ・手付かずな自然の河川状況を確認                         </td> </tr> <tr> <td>河道の安定化対策</td> <td>                             ・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学                              ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲                              ・久著呂川の自然の回復状況確認                         </td> </tr> <tr> <td>水辺林・緩衝帯</td> <td>                             ・水辺林・緩衝帯の対策の説明                              ・苗ポット作成方法を説明                              ・苗ポットの作成体験                         </td> </tr> <tr> <td>河川沿いの土砂調整地</td> <td>                             ・対策の説明                              ・土砂の堆積状況の見学                         </td> </tr> <tr> <td>排水路合流部沈砂池</td> <td>                             ・対策の説明                              ・対策の効果確認                         </td> </tr> <tr> <td>湿原流入部土砂調整地</td> <td>                             ・対策の説明                              ・人工ケルミの見学                              ・流域全体における土砂対策の効果確認                         </td> </tr> </tbody> </table>		見学地点	見学・説明内容	上流の自然河道		・上流の自然河道の説明及び見学 ・手付かずな自然の河川状況を確認	河道の安定化対策	・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学 ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲 ・久著呂川の自然の回復状況確認	水辺林・緩衝帯	・水辺林・緩衝帯の対策の説明 ・苗ポット作成方法を説明 ・苗ポットの作成体験	河川沿いの土砂調整地	・対策の説明 ・土砂の堆積状況の見学	排水路合流部沈砂池	・対策の説明 ・対策の効果確認	湿原流入部土砂調整地	・対策の説明 ・人工ケルミの見学 ・流域全体における土砂対策の効果確認	 河川沿いの土砂調整地 対策の実施内容説明	
見学地点	見学・説明内容																	
上流の自然河道	・上流の自然河道の説明及び見学 ・手付かずな自然の河川状況を確認																	
河道の安定化対策	・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学 ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲 ・久著呂川の自然の回復状況確認																	
水辺林・緩衝帯	・水辺林・緩衝帯の対策の説明 ・苗ポット作成方法を説明 ・苗ポットの作成体験																	
河川沿いの土砂調整地	・対策の説明 ・土砂の堆積状況の見学																	
排水路合流部沈砂池	・対策の説明 ・対策の効果確認																	
湿原流入部土砂調整地	・対策の説明 ・人工ケルミの見学 ・流域全体における土砂対策の効果確認																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>見学地点</th> <th>見学・説明内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上流の自然河道</td> <td>                             ・上流の自然河道の説明及び見学                              ・手付かずな自然の河川状況を確認                         </td> </tr> <tr> <td>河道の安定化対策</td> <td>                             ・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学                              ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲                              ・久著呂川の自然の回復状況確認                         </td> </tr> <tr> <td>水辺林・緩衝帯</td> <td>                             ・水辺林・緩衝帯の対策の説明                              ・苗ポット作成方法を説明                              ・苗ポットの作成体験                         </td> </tr> <tr> <td>河川沿いの土砂調整地</td> <td>                             ・対策の説明                              ・土砂の堆積状況の見学                         </td> </tr> <tr> <td>排水路合流部沈砂池</td> <td>                             ・対策の説明                              ・対策の効果確認                         </td> </tr> <tr> <td>湿原流入部土砂調整地</td> <td>                             ・対策の説明                              ・人工ケルミの見学                              ・流域全体における土砂対策の効果確認                         </td> </tr> </tbody> </table>		見学地点	見学・説明内容	上流の自然河道	・上流の自然河道の説明及び見学 ・手付かずな自然の河川状況を確認	河道の安定化対策	・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学 ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲 ・久著呂川の自然の回復状況確認	水辺林・緩衝帯	・水辺林・緩衝帯の対策の説明 ・苗ポット作成方法を説明 ・苗ポットの作成体験	河川沿いの土砂調整地	・対策の説明 ・土砂の堆積状況の見学	排水路合流部沈砂池	・対策の説明 ・対策の効果確認	湿原流入部土砂調整地	・対策の説明 ・人工ケルミの見学 ・流域全体における土砂対策の効果確認	 河道の安定化対策 採取した魚類を観察		
見学地点	見学・説明内容																	
上流の自然河道	・上流の自然河道の説明及び見学 ・手付かずな自然の河川状況を確認																	
河道の安定化対策	・全員が胴付長靴を着用し、川に入り、河床低下の状況を見学 ・箱メガネを用い魚類観察、タモ網で水生昆虫を捕獲 ・久著呂川の自然の回復状況確認																	
水辺林・緩衝帯	・水辺林・緩衝帯の対策の説明 ・苗ポット作成方法を説明 ・苗ポットの作成体験																	
河川沿いの土砂調整地	・対策の説明 ・土砂の堆積状況の見学																	
排水路合流部沈砂池	・対策の説明 ・対策の効果確認																	
湿原流入部土砂調整地	・対策の説明 ・人工ケルミの見学 ・流域全体における土砂対策の効果確認																	
 水辺林・緩衝帯 苗ポット作成体験		 湿原流入部土砂調整地 人工ケルミを見学																

見学ツアー  
ニュースレター

